「決めた。あたし、吹奏楽部に入る。千鶴も一緒にやろうよ」
しほりんに誘われるまでもなく、千鶴の気持ちも吹奏楽部へ傾いていた。
放課後の音楽室にいる自分を、千鶴はたやすく想像できた。すぐに上達するほど器用じゃなくても、まじめに練習を積んで、着実に成長していく自分。仲間や先輩たちともそれなりにうまくやっていく。ありありとイメージできる。できすぎる。
「あのね、わたし……中学生になったら、変わりたいって思ってたんだ」
千鶴は初めてしほりんに打ちあけた。
「今までとはちがう自分になりたくて。吹奏楽部は、すごくいいと思うし、すごくやってみたい。でも、それじゃ、今までのわたしと一緒って気もして……」
うまく言えない。①じれったく黙りこむ千鶴の横顔を、しほりんがじっと見つめている。千鶴が本気のとき、しほりんはいつもおなじくらいの本気さで何かを返そうとしてくれる。ちょうどいい言葉が見つからなくても、見つけだすまであきらめない。
けれど、この日は早かった。
「うん」
胸もとのスカーフをのぞきこむように、しほりんはこっくりうなずいて言ったのだ。
「わかるよ。千鶴の気持ち」
「え」
「あたしも、そんなふうに思うことあるし」
「しほりんも？」
「うん。でも、それでもあたし、千鶴は千鶴らしいことをしたほうがいいと思う」
「そうかな」
「わざと自分らしくないことをするより、千鶴は千鶴らしいことをして、今までの千鶴以上にそれをがんばって、その先に、今までとちがう千鶴がいるんじゃないのかな」
千鶴は千鶴らしいことをして、今まで以上にそれをがんばって、その先に、今までとちがう千鶴がいる——。
千鶴はその言葉を吸いこんだ。とたん、道のむこうに広がる夕焼け空が朝焼けみたいに光り方を変えた。
「うん。そうかも。そうならいいな」
②すうっと肩から力がぬけた。

（森絵都『クラスメイツ〈前期〉』ＫＡＤＯＫＡＷＡ　による）

例題

「千鶴」の心情が変化したことを、情景描写を通して表現している一文を本文中から探し、最初の三字を答えなさい。

心情・人物像の読み取り

文学的文章で心情を捉えるためには次の内容に注目する。

①「誰の」心情か（主語）

②「誰・何に対する」心情か（対象）

③「どんな」心情か（心中）

心中は直接書かれるだけでなく、会話、動作、表情、情景描写に表れることも多い。

（例）目を丸くした。思わず体をのけぞらせた。
　→驚きなど
　進む先にはどんよりとしたくもり空が広がっていた。
　→憂鬱など

また、登場人物ごとの人物像を理解しておくと、物語の展開が捉えやすい。

・人物の設定（年齢・性格・職業）
・人物がおかれた状況・境遇
・人物の価値観や考え

などに注目して読み進めるとよい。

確認テスト

本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「じれったく黙りこむ千鶴」とあるが、このときの千鶴の心情として適当なものを選びなさい。

ア 自分の思いをうまく言葉にできず、もどかしく思っている。
イ 相手が答えを返してくれず、戸惑いを感じている。
ウ 中学校ではちがう自分になれることを必死に願っている。

［　　］

(2) ――線②「すうっと肩から力がぬけた」から読み取れる千鶴の様子として適当なものを選びなさい。

ア あきれ果てる様子。
イ 迷いがなくなった様子。
ウ 本心をとりつくろう様子。

［　　］